

大学生・社会人の ひきこもりを乗り越えるための 親御さん向け勉強会

2021年10月8日（金）

時間：10：30～12：20

参加費：1,000円

場所：淀屋橋心理療法センター

〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-13-49

TGCマンション8-302

講師：精神科医師 福田俊一

臨床心理士 福田俊介

下記QRコードからお申し込みください。

定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

※ご相談のお子さんの対象年齢は35歳以下です。



お子さんのひきこもり解決のために、
親御さんはコミュニケーションを増やそうとしているのに、
イマイチ効果が出ていない。
あるいは、親御さんが解決しようと頑張れば頑張るほど、
空回りしているような感じになっている。
このようなことでお困りではありませんか？

ちょっとした工夫をすることで、
軽度のひきこもりはどんどん変わることがありますし、
重度のひきこもりでも生活の様子が改善したりすることもあります。

親子関係には、お子さんがパワーアップする大きな力があります。
そのためにはまず、お子さんの持ち味を見抜く必要があります。
そしてその持ち味にあった働きかけをすることで、上昇気流に乗ることができます。
早く治るケースと時間のかかるケースの違いもご説明いたします。

お申し込みは
こちらからも可能です！



お問い合わせは：淀屋橋心理療法センター

since.1983

tel: 06-6866-1510

✉ ypc@mvh.biglobe.ne.jp

https://www.yodoyabashift.com

月～金曜日の10時～16時



プログラム

1. はじめに

講師：淀屋橋心理療法センター所長/精神科医師 福田俊一

- ① 早く治るケースと時間のかかるケースの違い
- ② お子さんの持ち味を見抜く
- ③ 引きこもりを長期化させないために
- ④ 長期化していても解決しやすいケースはある

2. ケース紹介

講師：淀屋橋心理療法センター/臨床心理士 福田俊介

家族の接し方によって引きこもりが解決したケースをご紹介します

ケース1：高校を中退し、ひきこもりに - 少し遅れて青春を取り戻した男性 -
(ある程度、会話のあるひきこもり)

ケース2：自室にこもり、長年笑顔を見せなかったが、
家族と旅行を楽しめるようになった男性
(ほとんど会話の無いひきこもり)

3. Q & A

親御さんからの一つ一つの質問にお答えします！

お申し込みは
こちらからも可能です！



講師紹介

精神科医師 福田俊一

淀屋橋心理療法センター所長で精神科医師。日本の実践的家族療法の草分け的存在。初めて家族療法専門機関を日本で設立し、実践・技法の開発・家族療法家の育成に貢献した。その後は、不登校・ひきこもり・摂食障害・うつ・家庭内暴力(子から親へ)・リストカット等の家族療法の開発に尽力している。著書多数。



臨床心理士 福田俊介

臨床心理士・公認心理士(国家資格)。オレゴン大学卒業後、自動車関連会社に勤務。その後、兵庫教育大学大学院 学校教育研究科を卒業。2013年より淀屋橋心理療法センターに勤務している。現在、主に不登校・ひきこもり・ゲーム依存を担当し、お子さんそれぞれの性格に合った具体的な対応方法を親御さんにアドバイスしている。



淀屋橋心理療法センターのご紹介

淀屋橋心理療法センターは、1983年(昭和58年)にわが国初の家族療法カウンセリング専門機関として、所長・福田俊一(精神科医師)が設立しました。ご本人だけでなくご家族にもアドバイスを出す事でご家族も対応のコツがわかり、いち早く問題解決へと導く事が可能になります。

お問い合わせは:

家族療法による不登校・摂食障害・うつのカウンセリング

淀屋橋心理療法センター

since.1983

tel:06-6866-1510

月~金曜日の10時~16時

✉ ypc@mvh.biglobe.ne.jp

https://www.yodoyabashift.com

